

再 評 価 調 書

I 事業概要					
事業名	交通安全対策事業（歩道及び自転車歩行者道設置事業）				
地区名	一般県道 <small>さかうえおうち</small> 坂上大内線				
事業箇所	豊田市豊松町				
事業のあらまし	当該路線は、国道301号と豊田市 <small>とよた</small> 野外センターを結ぶ道路である。当該箇所は豊松 <small>とよまつ</small> 小学校への通学路であるが、道路幅員も狭く歩道も設置されておらず、歩行者が危険な状態にさらされている。この状況を解消するため歩道を整備し、通学児童の安全な通行空間を確保するものである。				
事業目標	【達成（主要）目標】 歩道設置を行い、安全な歩行者空間の確保を図る。 【副次目標】 —				
計画変更の推移		事前評価時 (2014年)	再評価時 (2019年)	変動要因の分析	
	事業期間	2014～2020	2014～2023	地元調整の難航による事業期間の延伸	
	事業費（億円）	2.0	3.3	下記による	
	経費内訳	工事費	1.7	1.7	—
		用補費	0.1	1.0	事業費精査による増額
		その他	0.2	0.6	事業費精査による増額
事業内容	歩道設置 L=440m	歩道設置 L=440m	—		
II 評価					
①事業の必要性の変化	1) 必要性の変化	【事前評価時の状況】 <small>とよまつ</small> 豊松小学校の通学路となっているが、歩道が設置されていないため、歩行者の安全な通行空間が確保されていない。 【再評価時の状況】 小学校の通学路となっている状況は変わらない。 【変動要因の分析】 周辺状況等における変動要因はほとんどない。			
	判定	B	A： 事業着手時に比べ必要性が増大している。 B： 事業着手時に比べ必要性にほとんど変化がない。 C： 事業着手時に比べ必要性が著しく低下している。		
		【理由】 歩行者の安全な通行の確保の必要性は変わらない。			

②事業の進捗状況及び見込み	1) 進捗状況	<p>【事業計画及び実績】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2"></th> <th>2014</th> <th>2015</th> <th>2016</th> <th>2017</th> <th>2018</th> <th>2019</th> <th>2020</th> <th>2021</th> <th>2022</th> <th>2023</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">工種区分</td> <td>調査・設計</td> <td colspan="5">←————→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td rowspan="4">/</td> </tr> <tr> <td>用地補償</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←————→</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>工事</td> <td></td> </tr> <tr> <td>歩道設置工事</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>←————→</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">事業費(億円)</td> <td>前回計画</td> <td>0.1</td> <td colspan="4">1.4</td> <td colspan="2">0.5</td> <td colspan="3"></td> <td>2.0</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td>0.1</td> <td colspan="4">1.0</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="3"></td> <td>1.1</td> </tr> <tr> <td>今回計画</td> <td>0.1</td> <td colspan="4">1.0</td> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">2.2</td> <td>3.3</td> </tr> </tbody> </table> <p>※事業費について、過去については5か年毎の計画と実績、今後5年間分の事業費と、それ以降の残事業費を記載する。</p> <p>【進捗率】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">これまでの計画に対する達成状況</th> <th colspan="2">全体進捗状況</th> </tr> <tr> <th>計画【①】</th> <th>実績【②】</th> <th>達成状況(%)【②÷①】</th> <th>計画【③】</th> <th>進捗率(%)【②÷③】</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長(km)</td> <td>0.44</td> <td>0</td> <td>0%</td> <td>0.44</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>事業費(億円)</td> <td>1.50</td> <td>1.1</td> <td>73%</td> <td>3.30</td> <td>33%</td> </tr> <tr> <td>工事費</td> <td>1.2</td> <td>0</td> <td>0%</td> <td>1.7</td> <td>0%</td> </tr> <tr> <td>用補費</td> <td>0.1</td> <td>0.5</td> <td>500%</td> <td>1.0</td> <td>50%</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0.2</td> <td>0.6</td> <td>300%</td> <td>0.6</td> <td>100%</td> </tr> </tbody> </table> <p>【施工済みの内容】 特になし</p>			2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	合計	工種区分	調査・設計	←————→											/	用地補償						←————→					工事											歩道設置工事								←————→			事業費(億円)	前回計画	0.1	1.4				0.5					2.0	実績	0.1	1.0									1.1	今回計画	0.1	1.0						2.2			3.3		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況		計画【①】	実績【②】	達成状況(%)【②÷①】	計画【③】	進捗率(%)【②÷③】	延長(km)	0.44	0	0%	0.44	0%	事業費(億円)	1.50	1.1	73%	3.30	33%	工事費	1.2	0	0%	1.7	0%	用補費	0.1	0.5	500%	1.0	50%	その他	0.2	0.6	300%	0.6	100%
			2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023	合計																																																																																																																															
	工種区分	調査・設計	←————→											/																																																																																																																														
		用地補償						←————→																																																																																																																																				
		工事																																																																																																																																										
		歩道設置工事								←————→																																																																																																																																		
	事業費(億円)	前回計画	0.1	1.4				0.5					2.0																																																																																																																															
		実績	0.1	1.0									1.1																																																																																																																															
		今回計画	0.1	1.0						2.2			3.3																																																																																																																															
		これまでの計画に対する達成状況			全体進捗状況																																																																																																																																							
計画【①】		実績【②】	達成状況(%)【②÷①】	計画【③】	進捗率(%)【②÷③】																																																																																																																																							
延長(km)	0.44	0	0%	0.44	0%																																																																																																																																							
事業費(億円)	1.50	1.1	73%	3.30	33%																																																																																																																																							
工事費	1.2	0	0%	1.7	0%																																																																																																																																							
用補費	0.1	0.5	500%	1.0	50%																																																																																																																																							
その他	0.2	0.6	300%	0.6	100%																																																																																																																																							
2) 未着手又は長期化の理由	<p>地元調整に時間を要したため、事業の完了が遅れている。</p>																																																																																																																																											
3) 今後の事業進捗の見込み	<p>【阻害要因】 大きな阻害要因はないが、用地の取得中であるため、用地買収の完了に向け引き続き交渉を行っていく。</p> <p>【今後の見込み】 事業費ベースでは33%の進捗率であるが、2019年度より用地買収に着手しており、今後も引き続き用地取得を進め、2023年度の完成を目指す。</p>																																																																																																																																											
判定	<p>A：これまで事業は順調であり、引き続き計画通り確実な完成が見込まれる。</p> <p>B：次のいずれか（該当する項目に「○印」を付ける）</p> <ul style="list-style-type: none"> これまで事業は順調である。今後は多少の阻害要因が見込まれるものの、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 ○これまで事業長期化していたが、事業期間を延長したことにより、今後は阻害要因がなく、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 これまでの事業長期化により、事業期間を延長した。今後も多少の阻害要因が見込まれるが、一定の期間等を要すれば、解決できる見通しがあり、ほぼ計画通りの完成が見込まれる。 <p>C：阻害要因の解決が困難で、現時点では、事業進捗の目処がたたない。</p> <p>【理由】 地元調整に時間を要したが、事業への反対はなく、用地取得も順調に進んでいるため、2023年度の事業完了が見込まれるため。</p>																																																																																																																																											
III 対応方針																																																																																																																																												
継続	<p>中止：上記①～③の評価で一つでもC判定があるもの。</p> <p>継続：上記以外のもの。</p>																																																																																																																																											

IV 事後評価実施の有無と主な評価内容

■対象（事業完了後5年目） 対象外

【事業完了後5年を越えて実施する理由・対象外の理由】

【主な評価内容】

・事業実施前後の歩行者等の安全性の変化